



11月定例会 ひきこもり支援 長野県産ワインの県内における消費拡大について



一般質問において、ひきこもり支援、ジェンダー平等な社会の推進について、及び長野県産ワインの県内における消費拡大について質問しました。

ひきこもり支援について

【丸山】 全国的にひきこもりの実態調査を行っているが、実数把握と支援は難しい現状がある。そのため令和7年11月に会派で秋田県藤里町社会福祉協議会の先進事例の視察をした。

藤里町では、関係機関のネットワークを生かしたひきこもり調査をし、訪問によるアウトリーチを取り入れていた。支援される側も役割を持つ居場所作りをし、ボランティア、交流会、資格取得講座など多様な参加機会を用意。戸別チラシ配布を通じて継続的に働きかけた結果、多数の参加者があったとの説明を聞いた。

こうした県内外の先進事例を市町村や社会福祉協議会等に広く紹介し、ひきこもり支援とリわけアウトリーチ型支援を県として積極的に推し進めてほしいがどうか。

ジェンダー平等な社会の推進について

【笹淵健康福祉部長】 藤里町の取組など地域に根ざした支援モデルを市町村に共有し、横展開を図ることは非常に有効であると認識している。これまでも、ひきこもり支援フォーラム等で全国の優良事例を紹介してきたが、令和8年2月には（県）ひきこもり支援センターで、市町村の担当者向けに先進事例を含む研修会を予定している。

ジェンダー平等な社会の推進について

【丸山】 令和7年9月に開催された「信州からジェンダー平等をともにあたらしく」のシンポジウムで、阿部知事は県の取組報告の中で、信州未来共創戦略では「都道府県版ジェンダーギャップ指数を、長野県は2030年に政治・行政・教育・経済の4分野すべてで上位10位以内になるよう目指している」と説明した。ぜひ長野県から改革し、全国知事会長として取組を広げ、日本全体を変えてほしいがどうか。

【阿部知事】 まずは県組織として、男性育休取得率や女性管理職比率の向上など率先して取り組む、全施策にジェンダー主流化の視点を取り入れる。また、経済界や市町村と問題意識を共有し、オール信州の取組を進めるとともに、全国知事会でも推進本部を設け、率先行動を通じて全国的なジェンダー平等の前進を図っていく。

「相性」の拡大が県産ワインの価値確立につながるかと考えるが、消費拡大に向けた県の取組と今後の具体的な施策を伺う。

またG1長野の制度の解説やG1認定商品の紹介などの取組はどうか。さらに「日本ワインコンクール」で都道府県別金賞受賞数が4年連続で日本一となるなど品質の高さが評価されているが、価値を伝える人材の確保が必要と思うがどうか。

【米沢産業労働部長】 令和5年3月に策定した「信州ワインバレー構想20」では、特に県産ワインの消費拡大に向け、主要な取組項目として、地域食材との「マリアージュ」を推進し、ワインの楽しみ方を広げることが位置づけられており、県としても「しあわせバイ信州運動」の取組と併せ、宿泊施設や飲食店においてワイン振興をさらに進めていく。

G1制度の普及に向け、制度紹介パンフレットの配布や試飲イベントでのPRに加え、令和7年度は動画を制作し、イベントでの放映やSNS発信、小売店頭での活用を進めている。

県産ワインの高い品質評価を消費拡大につなぐため、ソムリエやワインリレー関係者によるSNS発信、公認アンバサダーによるイベントでの説明を通じて、価値を伝える人材の育成活用を進めているほか、令和6年度からは「発酵食品伝え手育成事業」により、発酵食品とともに県産ワインの魅力を発信できる人材育成にも取り組んでいる。

【丸山】 長野県産ワインについて、県外又は海外への販路拡大も重要なが、県内での消費拡大も図るべき。長野県の気候を現地で感じながら県内の豊かな地元食材と県産ワインを合わせて楽しむいわゆる「マリアージュ」



危機管理建設委員会で質問しました



建設部 各課

- ①市街化調整区域の開発許可
- ②建設産業の次世代を担う人材確保 育成の取組
- ③冬季道路交通確保の取組
- ④長野県景観育成計画の改定
- ⑤令和7年度、信州の木建築賞の結果について質問しました。

危機管理課 消防課

【丸山】 県内の市町村防災会議の委員に占める女性比率は、全国平均以下である。今後の取組はどうか。

【課長】 災害対策基本法により公共機関からの委員選出は必ずしも役職トップに限らない分野もある。市町村にもその情報を流すことで女性比率アップにつなげていきたい。



11月16日(日)塩尻市中信
会館で改革信州 丸山としこ
事務所主催で県政報告会を開
催し約70名が参加。同じ会派
の女性議員5名が全県から集
合。登壇者は、高島陽子議員
(長野市・上水内郡区)、佐藤千
枝議員(東御市区)、竹村直子
議員(飯田市・下伊那郡区)、小
林陽子議員(安曇野市区)。

内容は①議員になったきつ
かけ ②県議会での活動(一般
質問や委員会活動など) ③
ジェンダー平等な社会にするた
めにはどうしたらいいかにつ
いてをテーマとした。

登壇者から、子育て・介護・
障がいのある家族の経験、非正
規雇用や職場での不平等など
といった当事者としての実体験
が、政治を志すきっかけとなっ
たことが語られた。

これまでの取組として、子育て
て支援、教育・福祉の充実など
生活に密着した政策のほか農
林業振興、産業振興、環境政策
など幅広い政策が紹介された。



『出張塩尻図書館』を開設。また、市内映画館における映画『女性の休日』の情報を来場者に提供しました。(共にジェンダー関連)



当日は手話通訳2名を依頼し、子連れでも参加できるようなキッズスペースを作ることで多様な方の参加を企画しました。また、包括的性教育を進める国への署名活動も行いました。

特にジェンダー平等の推進に
おいては、困難な状況を声に出
して伝えることや、性別や年齢
問わず語り合う場が必要であ
ること。さらに、女性が意思決
定の場に参画することで、これ
まで十分に取上げられてこな
かった課題を政策として可視化
していく重要性が共有された。
今後も、多様な立場の声を
政治に反映させ、誰もが暮ら
しやすい地域社会の実現に向
けて取り組んでいくことを決
意した。

活動記録

[2025年10~12月抜粋]

主催者、地区役員の方々や市民の皆様と懇談し、ご意見を伺いました

10/4(土)	長野県立子ども病院PICU開設25周年記念式典(安曇野市)
10/11(土)	(市)森のフェスティバル(北小野・大木伐採見学)
10/12(日)	塩尻東地区運動会/北小野地区運動会
10/19(日)	長野県総合防災訓練(岡谷市・危機管理委員として参加)
10/27(月)~28(火)	改革信州県政対話集会(中野市)
10/29(水)~31(金)	危機管理建設委員会視察(広島県広島市・東広島市)
11/1(土)	日本ど真ん中ウォーク(市スポーツ協会)
11/3(月)	塩尻市長表彰/塩尻市民文化祭
11/2(日)~8(土)	市内各地区文化祭/広丘・片丘・大門地区に参加
11/4(火)	長野県議会主催「地方創成」講演会(議会棟講堂)
11/7(金)	塩尻市技能者褒奨
11/12(水)~14(金)	会派県外視察(岩手県・秋田県)
11/16(日)	県政報告会(改革信州 丸山としこ事務所)
11/18(火)	(市)戦没者追悼式/(市)教育行政懇談会
11/25(火)	(市)子ども子育て会議
11/30(日)	塩尻市ゲートボール大会
12/13(土)	塩尻市スポーツ表彰(市スポーツ協会)
12/15(月)	「こんにちは県議会」高校生との意見交換会
12/21(日)	ウイングロード「クリスマスお話し」
12/22(月)	県建設部へ要望活動(国道153号、片丘バイパス)(県庁)
12/26(金)	「私のアクション!未来のNAGANO創造県会議」(長野市)

「長野県人権フェスティバル2025」のおしらせ (Web視聴)

一人ひとりの個性や多様性を尊重し、すべての人が互いに支え合いながら共に生きる「人権が尊重される長野県」を目指し、インターネット上で人権フェスティバルを公開しています。(令和7年12月4日~令和8年2月28日まで)

長野県県民文化部人権・男女共同参画課のYouTubeチャンネルから配信。右記のQRコードからご視聴ください。



長野県人権フェスティバル2025 / 人権講演「日本社会でジェンダー主流化がなぜ必要なのか?」YouTube www.youtube.com

◆12月26日『私のアクション!未来のNAGANO創造県会議』が長野市内で開かれ、「自分を受け入れ、誰かを受け止める」と題する講演会で講師はジェーンズさん。

◆『長野県人権フェスティバル2025』が始まり2月28日まで視聴可(上記参照)。内容は①「ジェンダー主流化」伊藤公雄氏、②「インターネットによる人権侵害」山口真一氏、③「性の多様性」杉山文野氏3名の講演です。それぞれ第一線で活躍の講師です。ぜひご視聴ください。

扉を開けて

10月 11月は県外に出向き先進的な取組みを視察し、一般質問や委員会に活かしました

10月29~31日



危機管理建設委員会の 県外視察(広島県)

- ① 空き家を生まないプロジェクト(中電技術コンサルタント(株))
- ② 建設産業の担い手確保・育成の取組(三陽工業(株))
- ③ 特定都市河川に係る流域治水の取組(国土交通省 中国地方整備局)
- ④ 地域振興拠点及び広域拠点としての道の駅の役割(東広島市 道の駅)
- ⑤ 防災まちづくり事業及びひろしま避難誘導アプリ(広島市役所)
- ⑥ 平成26年8月豪雨災害からの復旧・復興(広島市豪雨災害伝承館)

改革信州 県外視察 (岩手県、秋田県)

11月12~14日



- ① 森林組合の概要説明 広葉樹丸太の状況見学(岩手県森林組合連合会 盛岡木材流通センター)
- ② 駅内の待合室、駅店舗の木質空間や木のベンチ等(盛岡駅・秋田駅)見学
- ③ 藤里方式といわれる「ひきこもり支援事業」の概要とアウトリーチにおける活動を調査(秋田県藤里町社会福祉協議会)
- ④ (県)子ども計画/(県)ひきこもり対策/(県)公共交通計画を調査(秋田県庁)
- ⑤ 周産期医療と医療計画/地方債について調査(岩手県庁)
- ⑥ オガールプロジェクトの循環型まちづくり・有機資源・森林資源・無機資源(3R)について説明を受け暖房用ペレットボイラーの現場調査(岩手県紫波町情報交流館)



2月 定例会 日程(予定)	▶ 2月13日 開会 ▶ 2月19日~2月20日 代表質問 ▶ 2月24日~3月2日 一般質問 ▶ 3月4日~11日 各委員会 ▶ 3月16日 閉会
---------------------	--



このチラシは「FSC®森林認証紙」を使用しています。